

ヘルスビッグデータ利活用の取組みのご紹介

2022年1月19日
凸版印刷株式会社

凸版印刷が取り組む目的

- 極めて公益性の高いヘルスケア事業への取組みを通じて、健康を意識せずとも、生き生きと暮らせる社会を目指す

企業理念

TOPPAN VISION 21



私たちは
常にお客さまの信頼にこたえ
いっしょに いっしょ 知と技をもとに
こころをこめた作品を創りだし
情報・文化の担い手として
ふれあい豊かなくらしに貢献します

ふれあい豊かなくらしに貢献

こころ豊かで 満ち足りた くらしの実現に貢献する

全ての人類が抱えるテーマである「健康」への寄与

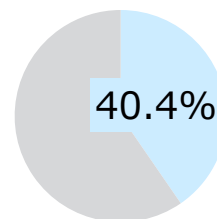
健康が損なわれていると・・・

労働生産性の低下

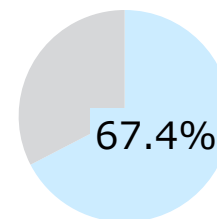
不安・ストレスの増大

心身の健康を守ることが肝要

通院している人の割合
(対象：全世代の男女)



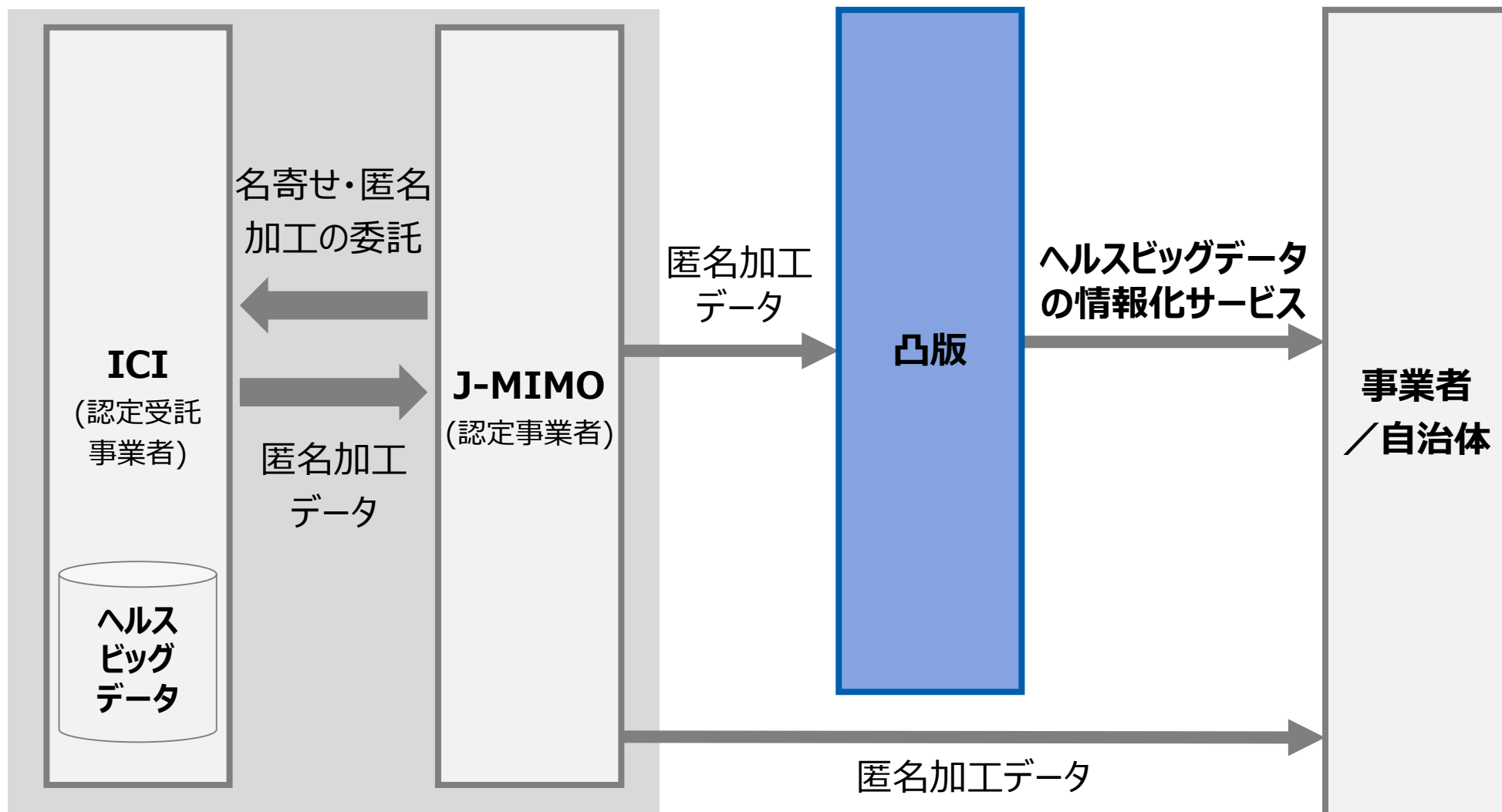
ストレスを感じている人の割合
(対象：10～70代の男女)



出典：厚生労働省「国民生活基礎調査（2019年）」
マイボイスコム株式会社「ストレスに関するアンケート調査（第7回）」

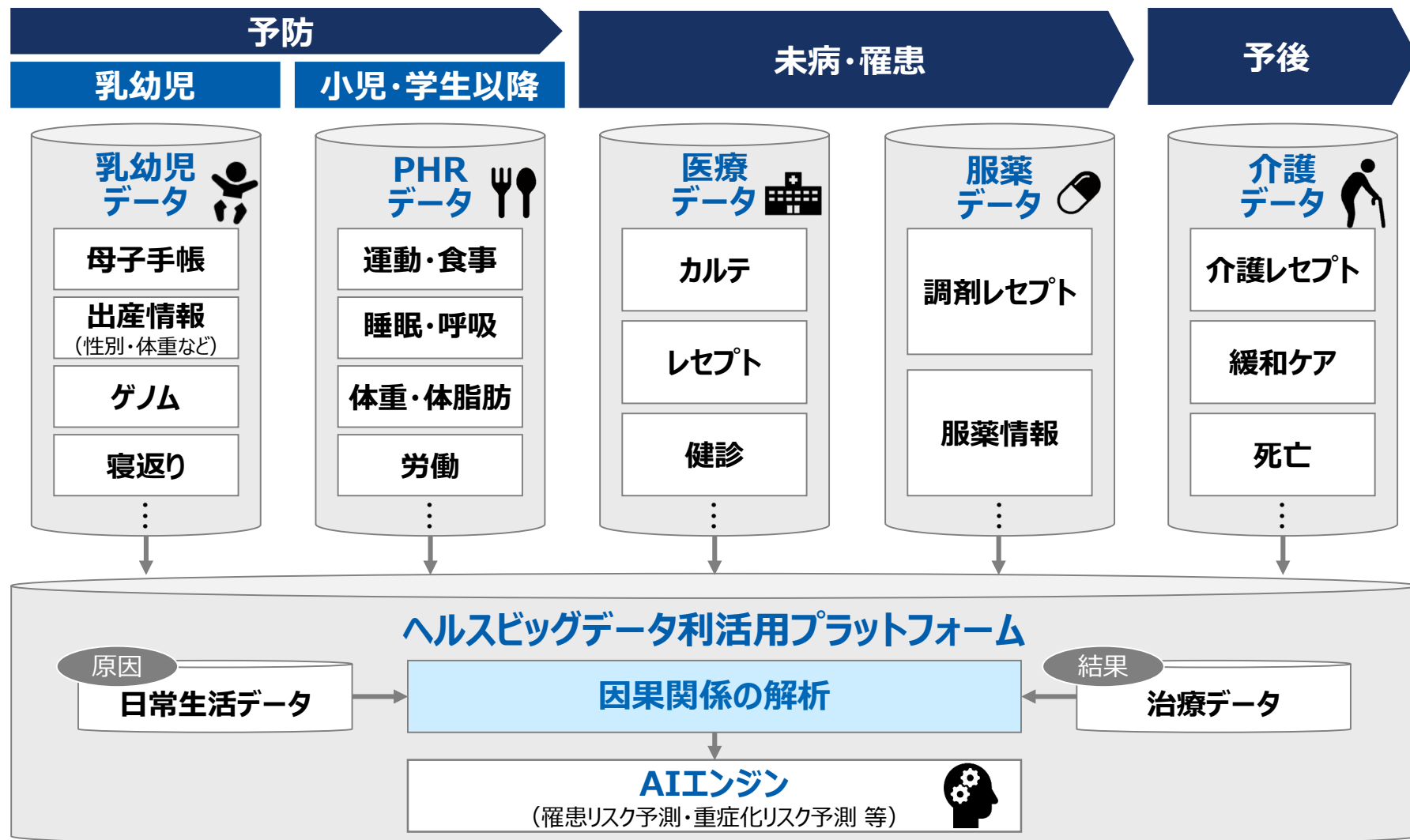
凸版印刷の事業概要

- 生き生きと暮らせる社会を目指して、**J-MIMO（認定事業者）**のヘルスビッグデータを
利活用するサービスを通じて、ヘルスデータの価値を様々な業界に展開



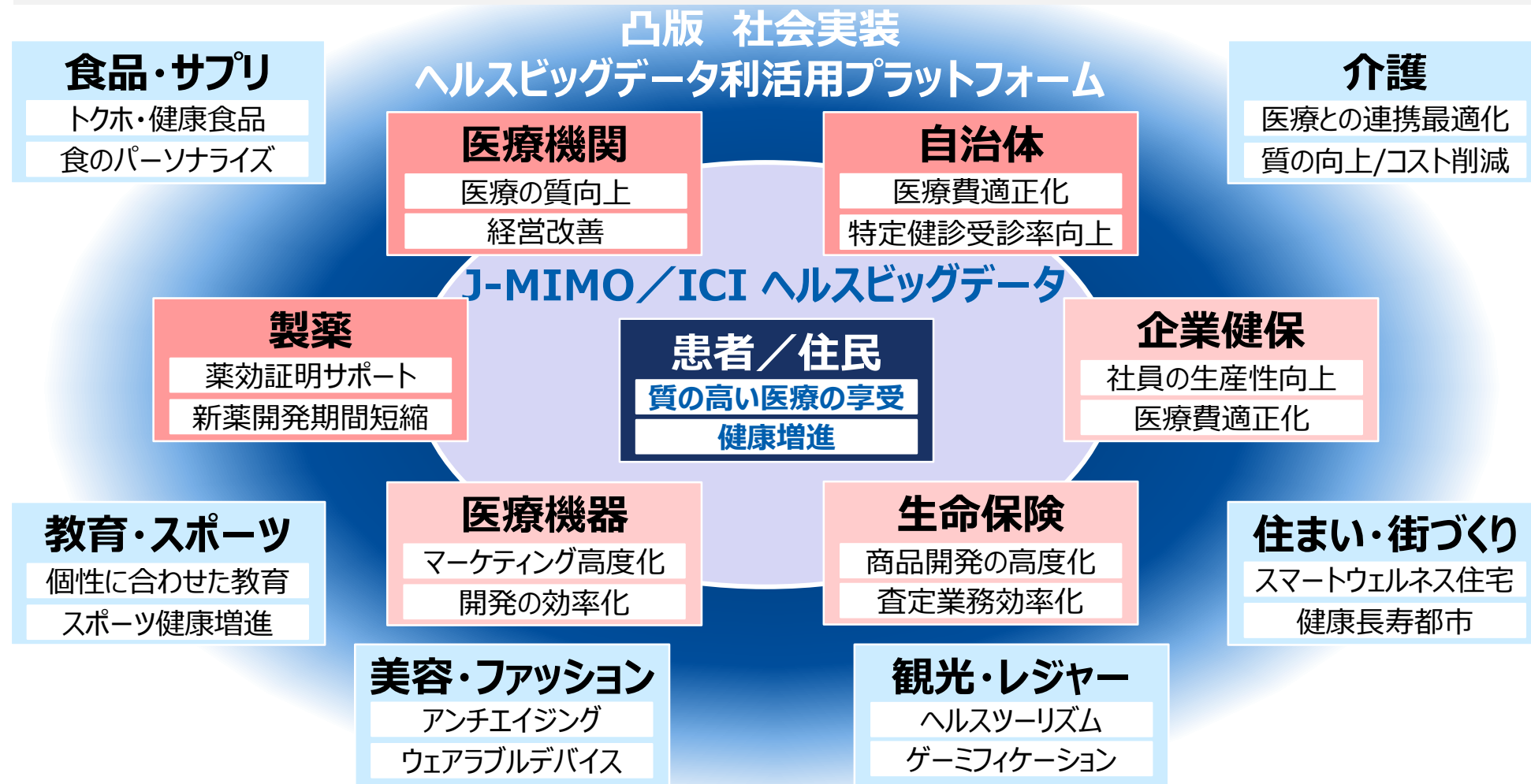
ヘルスビッグデータ利活用プラットフォーム構想

- 分散されているヘルスデータを統合・分析するヘルスビッグデータ利活用プラットフォームを構築し、**生活と健康の因果関係を解析**
- 一生涯にわたる時系列の統合は、次世代医療基盤法の認定事業者しか実現不可能と想定**



データ利活用の提供価値 1/2

- ヘルスビッグデータ利活用プラットフォームを活用して、様々な業界のサービス向上、及び日本全体の患者／住民の健康への寄与を目指す



様々な業界の中で、現在は**医療機関、自治体、製薬**を対象とした事業を推進中

凸版印刷は約**2万社以上**の顧客網があり、顧客網を通じて、多様な業界においてデータ収集・利活用が可能

データ利活用の提供価値 2/2

- データ利活用サービスにより情報化したデータを、各業界の専門家の方々に提供することでインサイト（気付き）創出を支援

ヘルスビッグデータ利活用プラットフォーム



データ利活用サービスによる情報

事業者／自治体

医療機関
(医師)



自治体
(保健師)



製薬会社
(メディカルアフェアーズ)



...

最適な
治療・処方

健康への意識改革

効果の高い
最適な薬剤

患者／市民

質の高い医療の享受

健康増進



進捗状況

- 自治体や国立病院機構からのデータ収集を開始、今後さらに収集先を拡大予定
- また、既に自治体へのサービス提供を開始、'21~'22年度中に製薬・医療機関向けも開始予定

		予防	未病	罹患	予後
データ 収集	収集元	自治体・健保 ／PHR事業者	クリニック	病院	自治体/ 介護事業者
	データ収集 状況	A市 (契約済)	B地域連携 (交渉中)	国立病院機構/ C医療機関グループ (収集中/交渉中)	(検討中)

		医療機関	自治体	製薬会社
データ 利活用	利活用先	医療機関	自治体	製薬会社
	データ利活用 サービス 開発状況	2022年12月末 ローンチ予定	2021年11月 ローンチ済	2021年度中 ローンチ予定
	データ利活用 サービス 提供状況	C医療機関グループ (交渉中)	D市・E市 (提供中/近日提供予定)	F製薬会社(複数) (交渉中)